

資料9：弾性ストッキング着用マニュアル

1. 適応

- ・ 単独使用：中リスクの患者
- ・ 低用量未分画ヘパリンとの併用：最高リスク患者

2. 実施方法（手順）

- ・ ストッキングの選択
 - 適切なサイズ：足関節部あるいは腓腹部の周囲長から決定する
 - タイプ：ハイソックス・タイプがより推奨される
- ・ 使用開始時期：麻酔導入前
- ・ 使用期間：離床し、十分な歩行が可能となるまでが原則

3. 実施上の注意

- ・ 基礎疾患が増悪する可能性があり慎重な使用が求められる患者（重症者は禁忌）：動脈血行障害、下肢の急性炎症、うっ血性心不全
- ・ 他の予防法を考慮すべき状態
 - 弾性ストッキングが脚の形に合わない、下肢の病変・手術

4. チェック項目

- ・ ストッキング自体に関するチェック
 - ずり落ち、しわ・よじれ・丸まり
- ・ ストッキングと患者との関連
 - モニターホール付きストッキング：足先のホールからの突出
 - つま先なしタイプのストッキング：下端部のまくれ上がり
- ・ 局所的に圧迫圧を上げる用具使用のチェック：ゴムひもなど
- ・ 自覚症状：足指のしびれ、疼痛、搔痒感の有無
- ・ 他覚所見：皮膚の変化（色調変化[チアノーゼ、蒼白、発赤]、浮腫、びらん、水疱、発疹）



5. 合併症とその対策

対策	合併症			
	動脈血行障害	静脈還流障害	皮膚損傷	皮膚炎
使用開始前				
症例選択	○	○		
適正なストッキング選択	○	○	○	○
使用中				
着用法 *1			○	○
誘因 *2の解除	○	○	○	○
早期発見	○	○	○	○
発生時の対処				
使用中断・中止	○	○		
他の予防法への変更	○	○		
その他			創処置	軟膏塗布 日常使用のストッキングの上に弾性ストッキングを着用

* 1 ストッキングを過度に引っ張り上げない

* 2 局所的に圧迫圧上昇を来す状態（弾性ストッキングのしわ、よじれ、ゴムひもの使用など）

